

わがまち 企業訪問 vol.10

市内の企業では、どのような製品が生産され、どのような人が働いているか。優れたモノづくりと技術者を紹介します。

安心と満足を支える

電子機器の頭脳「プリント基板」

株式会社 緒方製作所



携帯電話や家電、大きいものでは自動車や船舶など、ほとんどの電子機器や設備には、プリント基板が内蔵されています。配線や回路などが形成された銅張積層板で、電子機器に複雑な信号を伝える、いわば頭脳のような役割を持った電子部品です。現代の高度な電子機器には、無くてはならない部品です。

田尻地域に本社がある緒方製作所では、昭和45年の創業以来、家電製品やパソコン、医療機器などの製品の頭脳となるプリント基板を製造しています。時代によって変化する電子機器の需要に対応し、使用する人のよきこびを一番に考え、新たな技術を追求してきました。

現在は、生産する製品のほとんどが自動車に関係する製品です。田尻工場では、電子化の進む自動車に搭載する各種センサー基板を生産しています。岩出山工場では、車載製品の部品加工から塗装・組立を

行い、車輛組立工場に毎日納品されています。

自動車用製品は、高品質・高信頼性が求められます。特にプリント基板は、1ミリにも満たない部品でも確実に接合しなければなりません。自動装置に頼るだけでなく、人の目加わることで、わずかな違いにも気づき調整することができ、より精度が増し、安定した品質が維持されています。「より良い製品を、効率よく作りたい」という気持ちと技術で、製品の価値と信頼が保たれてきました。

作り手が、「やりがい」や「よきこび」をもって作業し、



▲岩出山工場では、車載製品の部品加工から組立まで行われています。

モノづくりへの思い

製造部実装課に勤務する高嶋 渉さんは、車載製品のセンサーに組み込まれるプリント基板の製造や組み立てを行う部署で、作業者に指示や指導を行っています。

作業のほとんどは自動装置を使っているのですが、微妙な位置などの調整は特に繊細で、人が見て判断することが必要です。精度の高いものを作るため、作業者が安全な環境で集中して作業に取り組むことができるような工夫をしているそうです。



▲マシン操作を行う高嶋 渉さん

「人が手作業で製品を作るときは、自然と良品を追求します。その気持ちを自動装置に落とし込み、より良いモノづくりをしたいです。」と高嶋さんは話します。作業には、関連企業と相談しながら製造することもあるそうで、「今後は、作業者の視線を大切に、交渉なども担当してみたい」と話してくれました。

会社概要

社名 株式会社 緒方製作所
代表者 代表取締役 高橋 一宏
所在地 田尻町尻 15-1
設立 昭和45年3月
事業内容 プリント基板への電子部品実装・組立、電子機器の製造・組立など
<https://www.ogata-ss.jp>

夏をさらにアツくする！ おおさきの夏まつり

記録的な猛暑となったこの夏、市内各所の祭り会場は暑さをものともしないアツい熱気であふれていました。若い力の躍動、伝統文化の継承など、地域一体となつて行われた祭りは、盛大な盛り上がりを見せました。祭りの活気あふれる様子を、写真でふりかえります。



- 1 鹿島台わらじパレードで華麗なすずめ踊りを披露
- 2 約5千発の花火が古川の夜空を彩ったおおさき花火大会
- 3 みこしをかついで古川の街を力強く行進
- 4 迫力ある古川太鼓の演奏
- 5 姉妹都市 東京都台東区の職人による江戸下町職人展(古川地域)
- 6 鎌田三之助を敬ってかつがれるわらじみこし(鹿島台地域)
- 7 ひまわりがあしらわれた衣装で三本木音頭を踊る
- 8 盆踊りの輪の中に入って松山音頭を踊る
- 9 古川音頭を優雅に踊る
- 10 心地よい音色で商店街を進む松山ばやし
- 11 松山太鼓を先頭に、夕暮れ時の商店街を練り歩く子どもみこし